

# 令和4年度第2回 埼玉県多文化共生推進会議

---

令和5年2月7日(火)

10時から11時30分

# 令和4年度第2回埼玉県多文化共生推進会議 次第

---

日時 令和5年2月7日(火)  
10:00~11:30

場所 埼玉会館 3B会議室  
(オンライン開催)

## 1 開会

## 2 議事

(1)埼玉県国際課の取組について

(2)令和4年度外国人住民意識調査結果について

(3)令和4年度県政サポーターアンケート結果について

## 3 閉会

# (1) 埼玉県国際課の取組について 令和4年度の多文化共生の取組について

---

○外国人お助けボランティア育成研修

○日本語学習支援の実施

○日本語教室への参加体験

○外国人住民による出前講座

# (1) 埼玉県国際課の取組について 外国人お助けボランティア育成研修

## ○外国人お助けボランティア育成研修

- ◆研修動画: 10月14日(金)に県ホームページで公開
- ◆研修の実施状況について

**第1回**

日時 **10/31(月)**  
13:00 ▶ 16:00

会場 鴻巣市市民活動センター

講師 やさしい日本語:有田玲子氏  
ボランティアの心得:  
石井ナナエ氏/エンピ・カンドル氏

**第2回**

日時 **11/23(水・祝)**  
13:00 ▶ 16:00

会場 所沢市民文化センター  
ミューズ ザ・スクエア

講師 ボランティアの心得:  
石井ナナエ氏/エンピ・カンドル氏  
やさしい日本語:有田玲子氏

**第3回**

日時 **1/7(土)**  
13:00 ▶ 16:00

会場 埼玉会館 小ホール

講師 ボランティアの心得:  
石井ナナエ氏/ピーター・フランクル氏  
やさしい日本語:岩田一成氏

**第4回**

日時 **2/12(日)**  
13:00 ▶ 16:00

会場 越谷コミュニティセンター  
ポルティコ展示ホール

講師 ボランティアの心得:  
石井ナナエ氏/エンピ・カンドル氏  
やさしい日本語:有田玲子氏

<参加状況>

【第1回】  
64名参加(定員100名)

【第2回】  
87名参加(定員100名)

【第3回】  
277名参加(定員200名)

【第4回】  
140名申込(定員100名)

# (1) 埼玉県国際課の取組について 外国人お助けボランティア育成研修

## <参考:講師について>

### ボランティアの心得



自治体国際化協会(クレア)地域国際化推進アドバイザー  
**石井 ナナエ(いしい ななえ)氏 ①②③④**  
日本で暮らす外国人の役にたちたいと、1997年NPO法人ふじみの国際交流センターを設立。日本語指導、外国ルーツの子どもの学習支援、外国人の生活相談、DV被害者母子のシェルター運営と自立支援、多言語での情報提供、交流サロンなど実施。地域の国際化が進む中、外国人支援活動はとても楽しく、やりがいがあり、これからますます必要と感じている。



UNIBIRD株式会社 代表取締役社長  
**インピ・カンデル 氏 ①②④**  
日本の大学を卒業後、留学生の就職支援を行うため、2017年UNIBIRD(株)を立ち上げ、紹介業を始めた。外国人留学生のキャリア支援ならびに外国籍人材の採用・育成支援を専門に行い、100以上の大学・日本語学校で就業支援し、外国人留学生の就職活動、入社後の職場適応を取り巻く課題の解決のため活動している。2021年までに累計4万人以上の学生にセミナー指導し、指導した学生を90%の確率で内定に導いた。



数学者/大道芸人/タレント  
**ピーター・フランクル 氏 ③**  
ハンガリー出身。1971年、国際数学オリンピック金メダル獲得。オトボス大学数学科入学後、1975年パリ第7大学に国費留学。1977年数学博士号取得。1978年ハンガリーサーカス学校で舞台芸人の国家資格に合格。1982年に東京大学に招かれ初来日。ユダヤ人差別がなく、親切でまじめな日本に居心地の良さを感じ、1988年から定住。ハンガリーの最高科学研究機関であるハンガリー学士院メンバー。算数オリンピック専務理事。日本ジャグリング協会名誉顧問。12ヶ国語を操り、110ヶ国以上を訪れている。

### やさしい日本語



ひらがなネット日本語教育アドバイザー/東京にほんごネット代表  
**有田 玲子(ありた れいこ)氏 ①②④**  
2011年から日本語学校や地域の日本語教室等で日本語教育に従事。「日本語ボランティア養成講座」や自治体等での「やさしい日本語」講座、行政文書の「やさしい日本語」の翻訳・監修などの実績がある。また、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」の制作にも携わっている。



聖心女子大学 教授  
**岩田 一成(いわた かずなり)氏 ③**  
元青年海外協力隊隊員(日本語教師:中国内蒙古自治区派遣)、大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程修了。国際交流基金日本語国際センター、広島市立大学を経て現職。本務校では日本語教師養成に関わる。外国人の視点から、街の公共サインや公用文を分析する著書を執筆。「やさしい日本語」普及のため、各地の自治体や医療関係者に向けて研修を行っている。出入国在留管理庁による2022年度「話し言葉のやさしい日本語の活用促進に関する会議」委員。

# (1) 埼玉県国際課の取組について 日本語学習支援の実施

## ○日本語学習支援の実施

### ◆日本語教室ボランティア講座の実施状況

- ・人材発掘のための初心者向け講座:3回 302人
- ・経験者向けスキルアップ講座:2回 115人
- ・課題解決型講座(日本語が話せない全くの初学者への対応):1回 68人

### ◆地域日本語教室相談・立ち上げアドバイザーの派遣状況

- ・3市町3教室等に派遣

伊奈町、寄居町においては令和4年9月に日本語教室が設立され空白地域解消につながることができた。また、稼働中の教室の課題解決や、新規の教室設立に向けた相談にも対応している。

# (1) 埼玉県国際課の取組について 日本語教室への参加体験、外国人住民による出前講座

## ○日本語教室への参加体験

県内の日本語教室にボランティアで高校生が参加し、日本語指導を体験するとともに、そこで学ぶ外国人と交流する。

◆実施回数4回 参加高校生11人(令和4年12月末現在)

## ○外国人住民による出前講座

県内大学に在籍する留学生等の外国人を講師とし、遊びを通して異文化を学ぶ。

◆実施回数9回

◆参加児童数80人 参加外国人17人

(令和4年12月末現在)



## (2) 令和4年度外国人住民意識調査結果について 結果概要

---

### 調査方法

期間: 令和4年11月14日(月)～11月30日(水)

対象: 県内在住18歳以上の外国人 3,000人(本調査に協力可能な市町村在住、無作為抽出)

方法: 郵送にて調査案内を通知・インターネット回答

言語: やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語

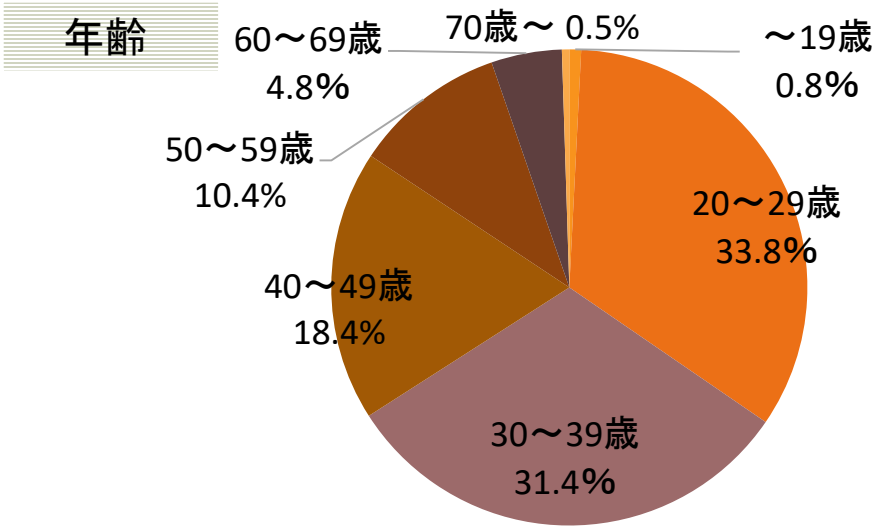
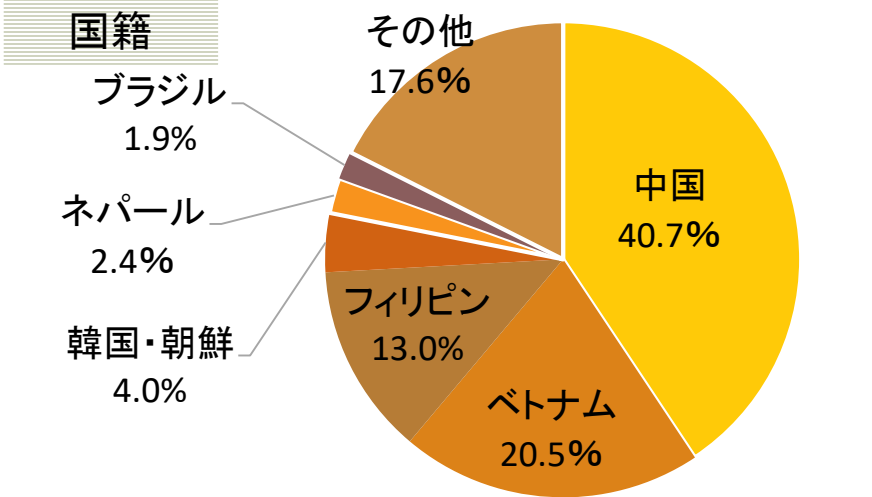
### 回収結果

有効回収票数 376件(有効回収率 12.5%)

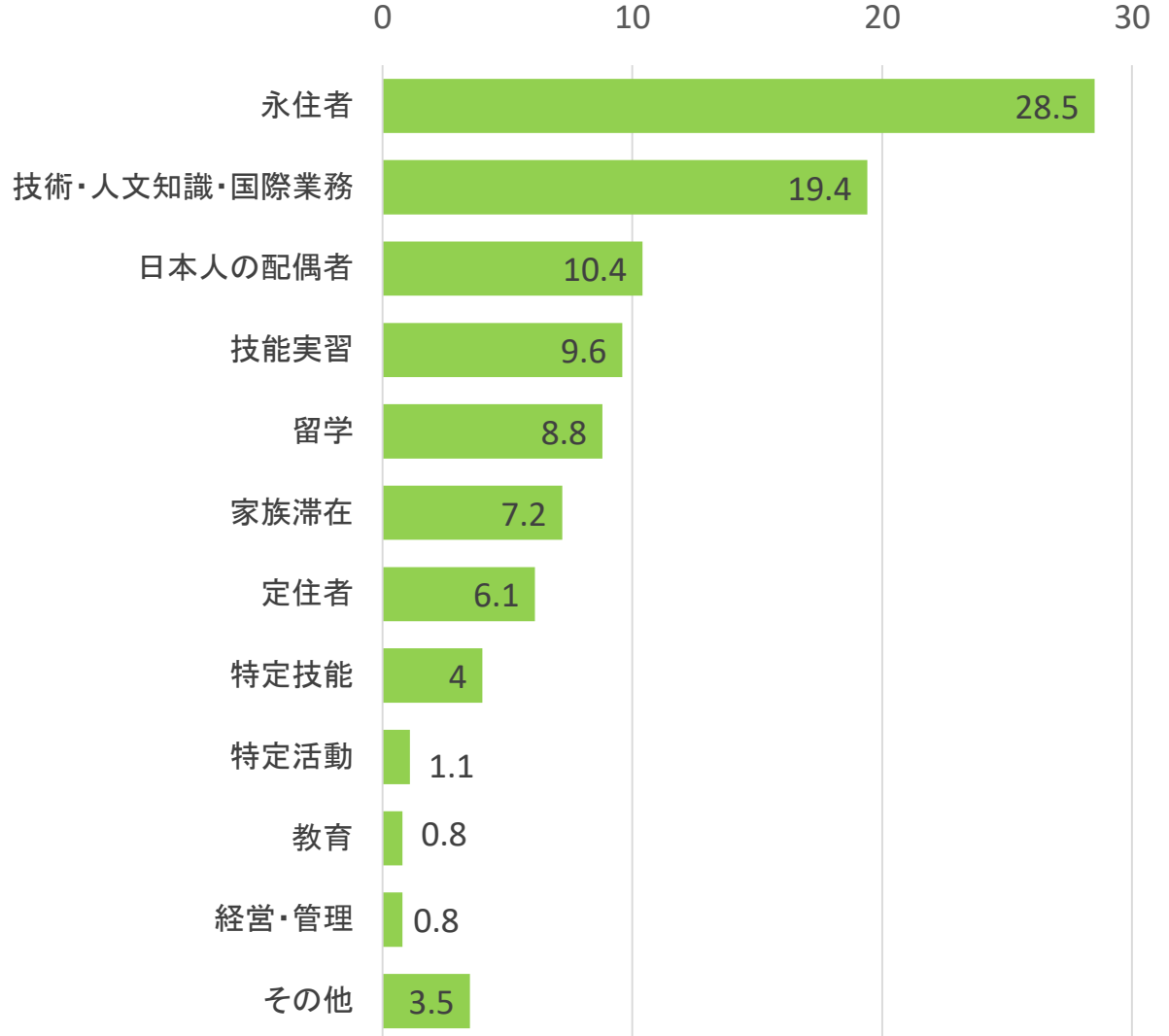


# (2) 令和4年度外国人住民意識調査結果について 結果概要

## 回答者属性



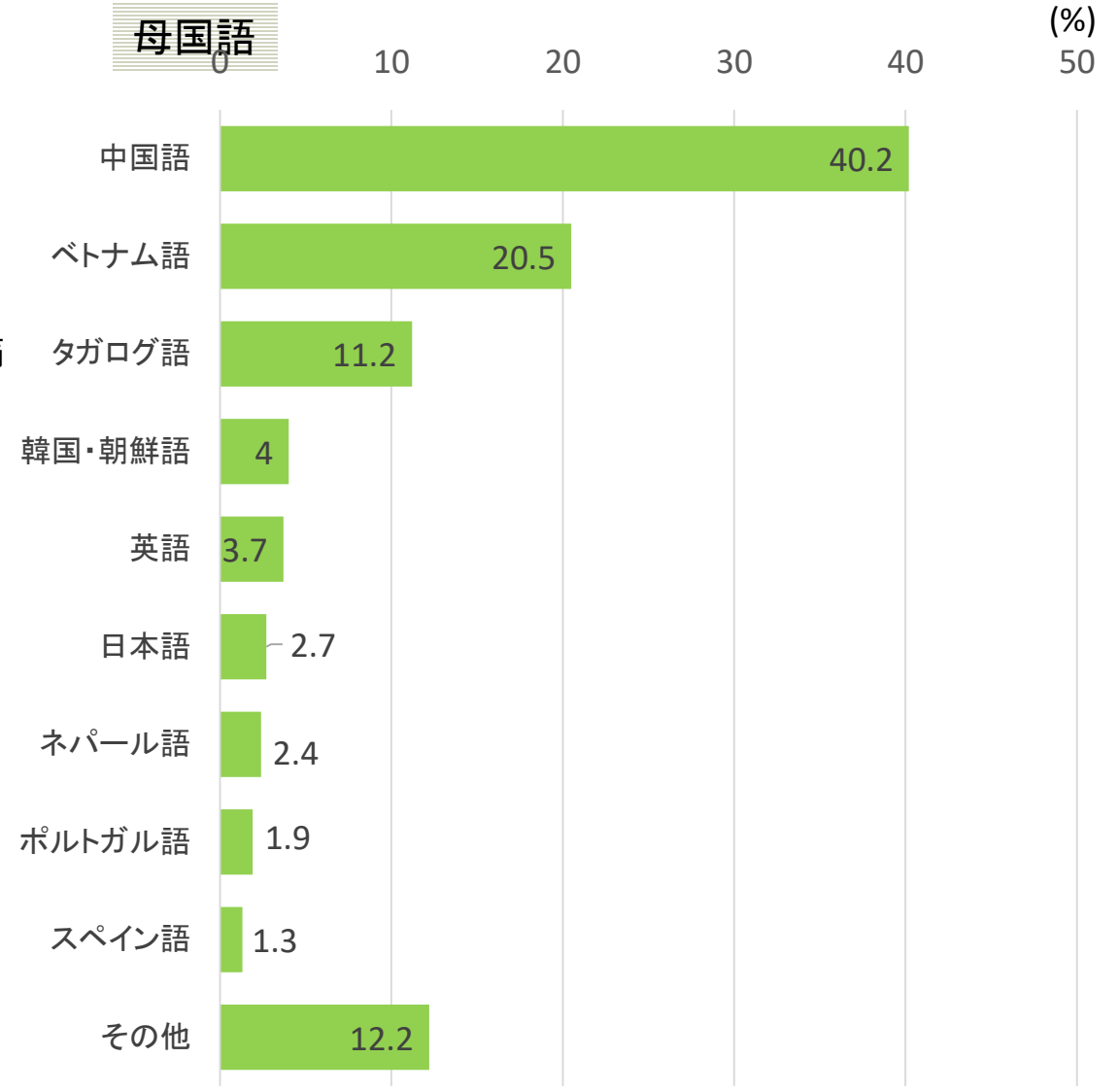
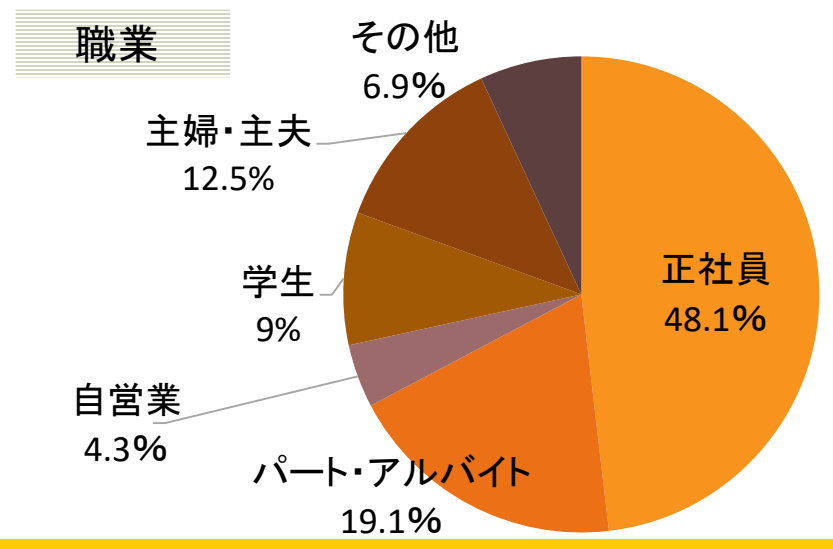
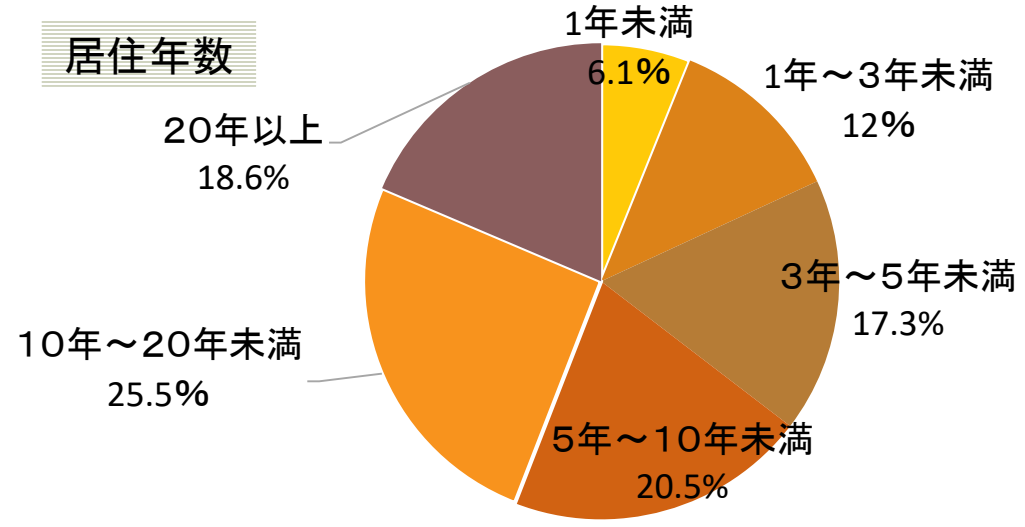
## 在留資格



※回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記載しており、合計が100%にならない場合があります。

# (2) 令和4年度外国人住民意識調査結果について 結果概要

## 回答者属性

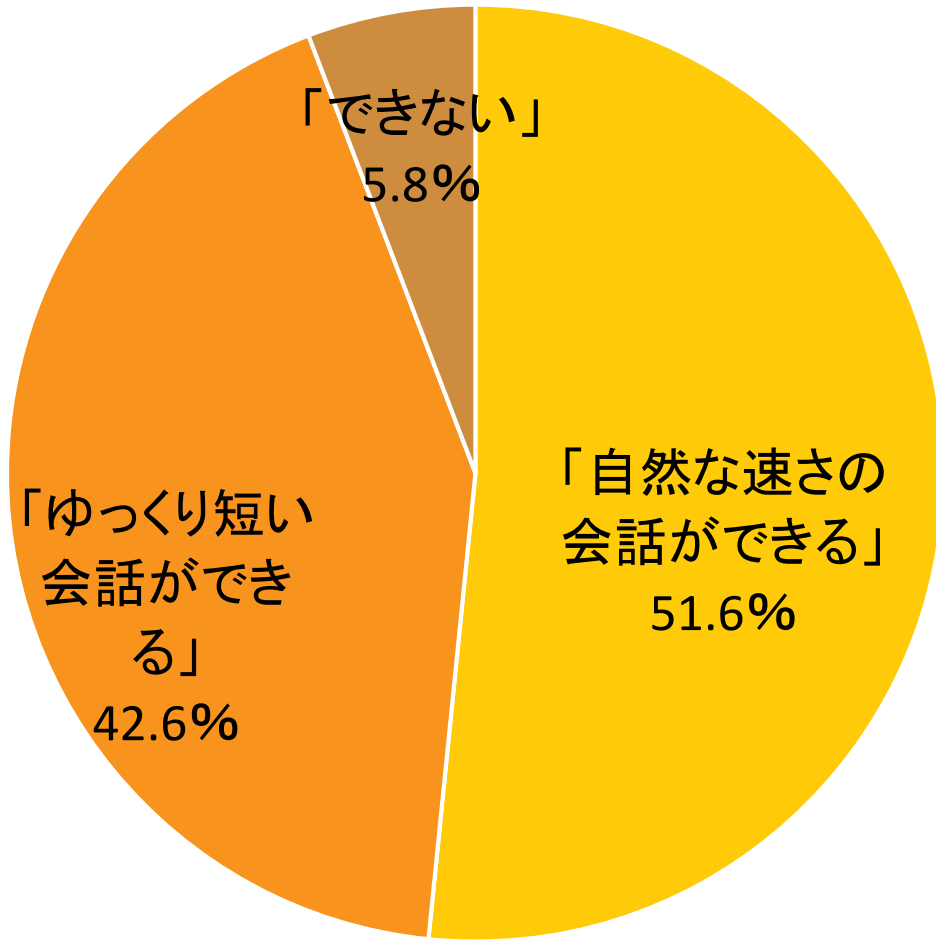


※回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記載しており、合計が100%にならない場合があります。

# (2) 令和4年度外国人住民意識調査結果について 結果概要(抜粋)

## ○日本語について

### ・会話能力



### ・読むことが難しいもの

「役所の申請書・手紙」	50.0%
「病院の書類」	47.1%
「契約書」	46.0%

### ・日本人と話していて困る場面

「病院で医者と話す時」	45.7%
「電話で話す時」	37.2%
「役所の人と話す時」	29.5%

## (2) 令和4年度外国人住民意識調査結果について 結果概要(抜粋)

### ○生活について

#### ・困ったときの相談先

「母国出身の友人や知人」	63.0%
「日本人の友人」	42.6%
「役所の窓口」	9.3%

#### ・外国人住民が暮らしやすい地域にするために必要なこと

「役所で外国語で相談ができる」	59.8%
「外国人住民と日本人が交流する時間を増やす」	47.6%
「外国語の生活情報がホームページにある」	45.7%

### ○今後やってみたい活動

「日本に来た外国人を支援する」	45.7%
「通訳・翻訳をする」	35.9%
「自分の国の文化や習慣を教える」	27.9%

# (3) 県政サポーターアンケート「外国人との共生について」 結果概要

## 調査方法

期間: 令和4年11月10日(木)～11月16日(水)

対象: 県政サポーター 3, 274人

方法: インターネットによる回答

## 回収結果

回収率: 66. 8%(回収率 2, 187人)

回答者数	人数(人)(内、県内在住)	比率(%)(内、県内在住)
全体	2,187(2,018)	100(100)

年齢	人数(人)(内、県内在住)	比率(%)(内、県内在住)
16～19歳	8(7)	0.4(0.3)
20～29歳	109(104)	5.0(5.2)
30～39歳	220(200)	10.1(9.9)
40～49歳	446(411)	20.4(20.4)
50～59歳	560(514)	25.6(25.5)
60歳以上	844(782)	38.6(38.8)

職業	人数(人)(内、県内在住)	比率(%)(内、県内在住)
個人事業主・会社経営者(役員)	226(206)	10.3(10.2)
家族従業(家業手伝い)	12(12)	0.5(0.6)
勤め(全日)	804(735)	36.8(36.4)
勤め(パートタイム)	343(320)	15.7(15.9)
専業主婦・主夫	308(282)	14.1(14.0)
学生	47(45)	2.1(2.2)
その他、無職	447(418)	20.4(20.7)

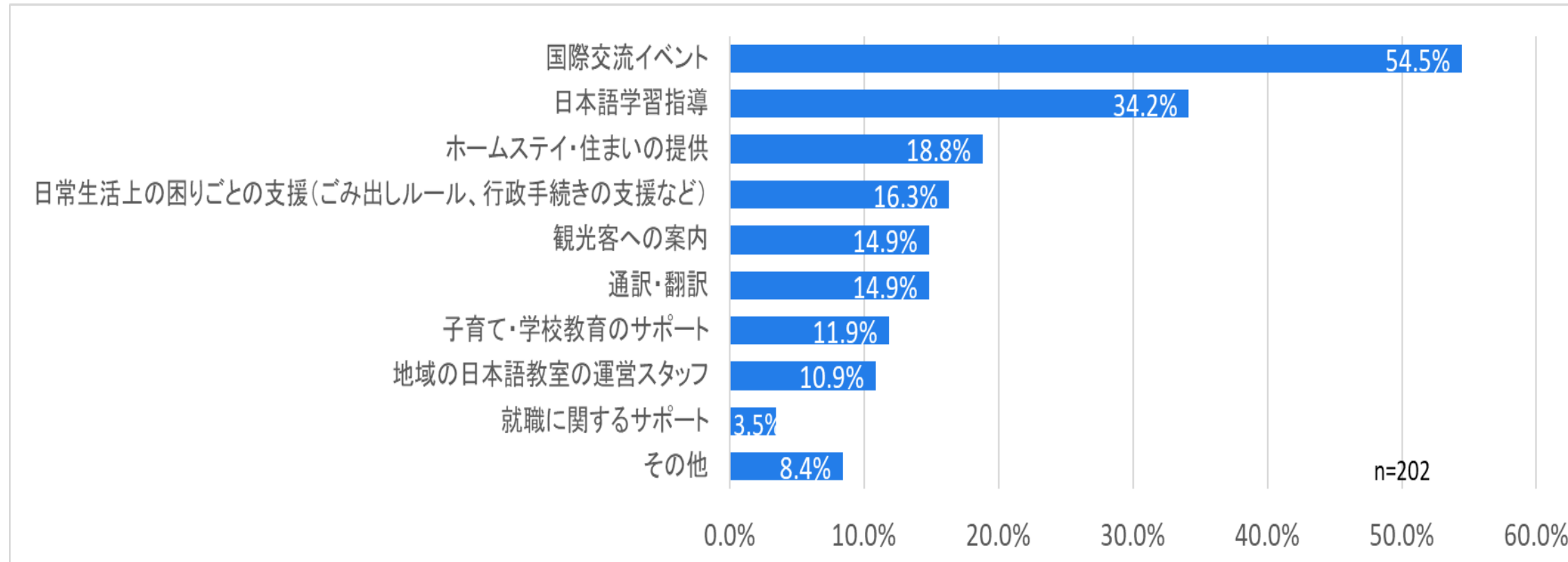
性別	人数(人)(内、県内在住)	比率(%)(内、県内在住)
男性	1,229(1,127)	57.4(57.1)
女性	884(820)	41.3(41.5)
回答なし	28(27)	1.3(1.4)

※任意回答(総数: 2,141人(1,974人))

### (3) 県政サポーターアンケート「外国人との共生について」 結果(抜粋)

#### ○行ったことのあるボランティア活動について

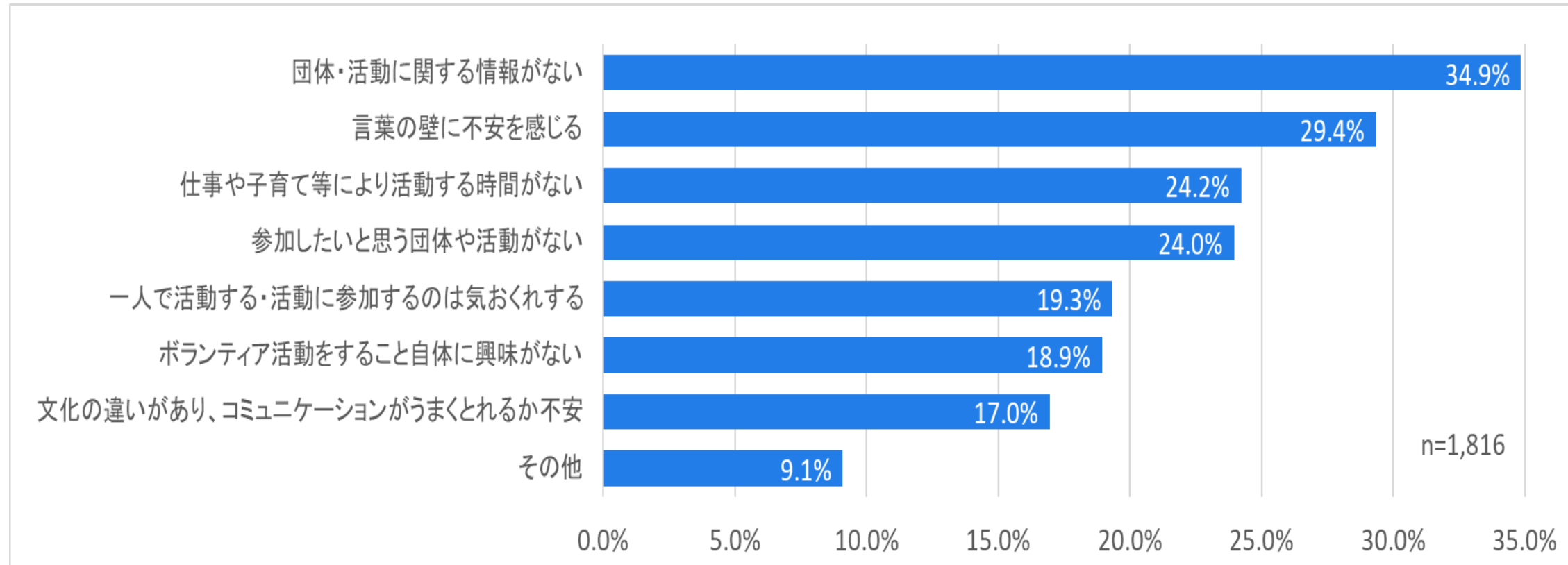
→「国際交流イベント」が5割半ば(54.5%)



### (3) 県政サポーターアンケート「外国人との共生について」 結果(抜粋)

#### ○ボランティアを経験したことがない理由について

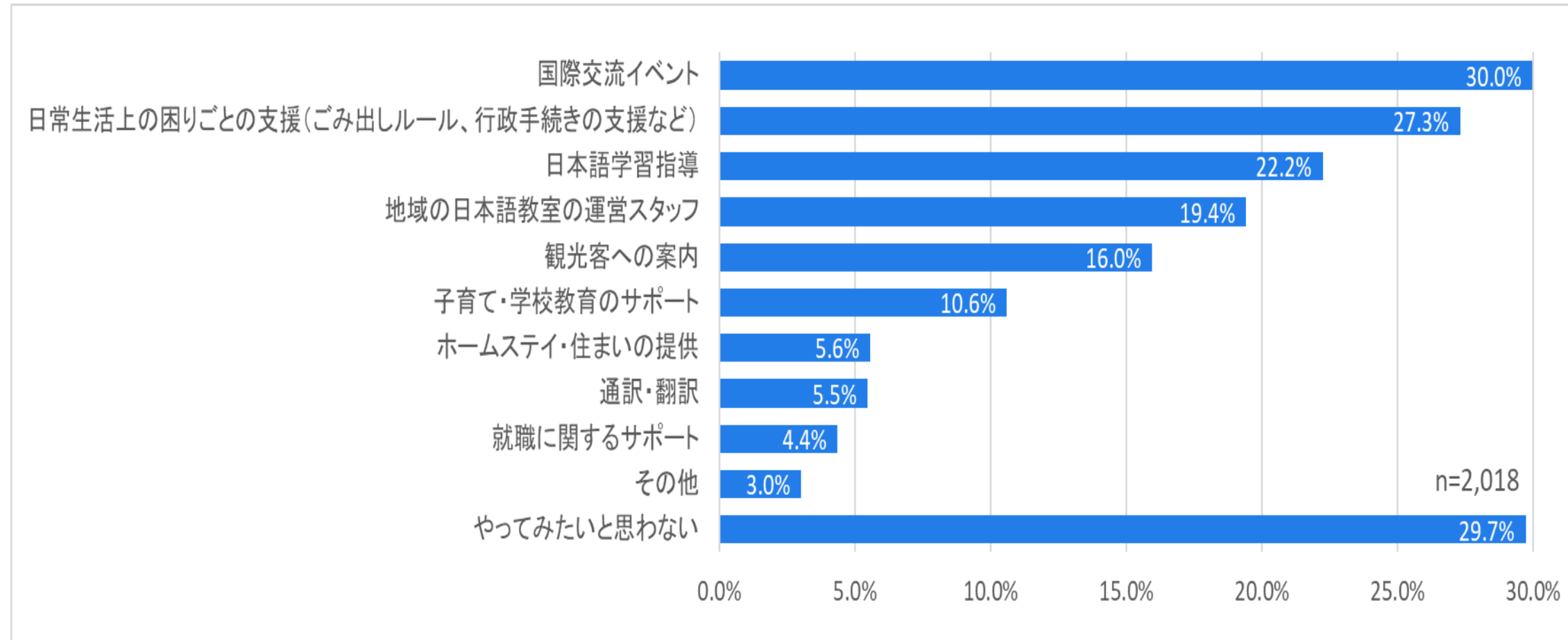
→「団体・活動に関する情報がない」が3割半ば(34.9%)



### (3) 県政サポーターアンケート「外国人との共生について」 結果(抜粋)

#### ○今後やってみたいボランティア活動について

→「国際交流イベント」が3割(30.0%)



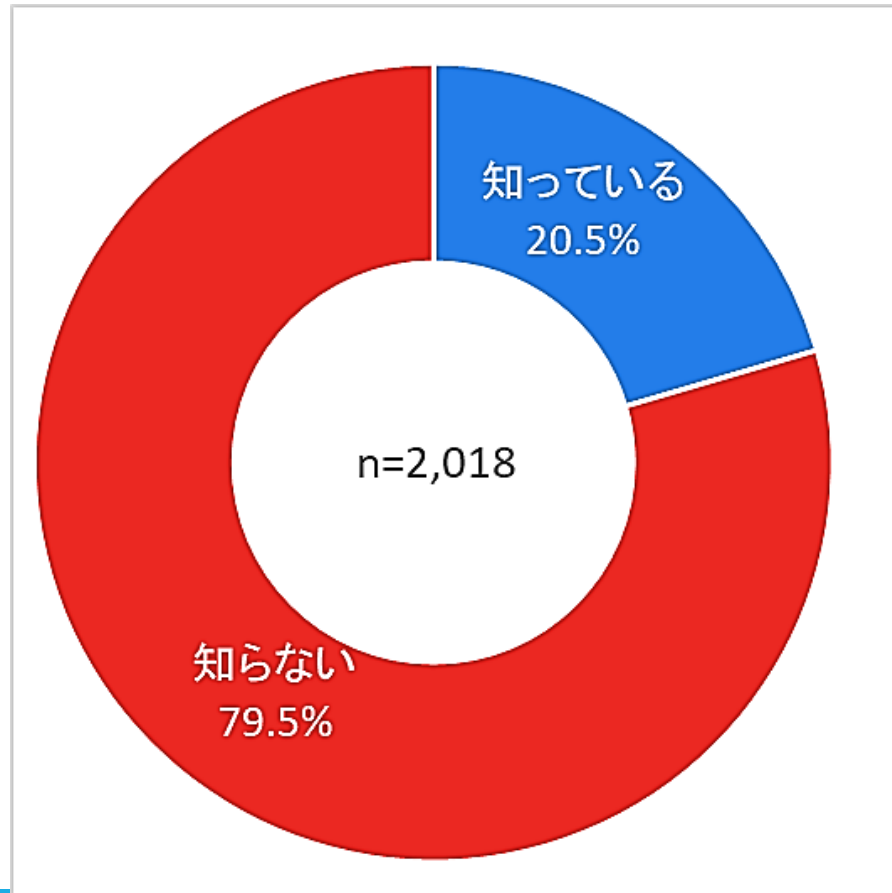


### (3) 県政サポーターアンケート「外国人との共生について」 結果(抜粋)

#### ○ 「やさしい日本語」について

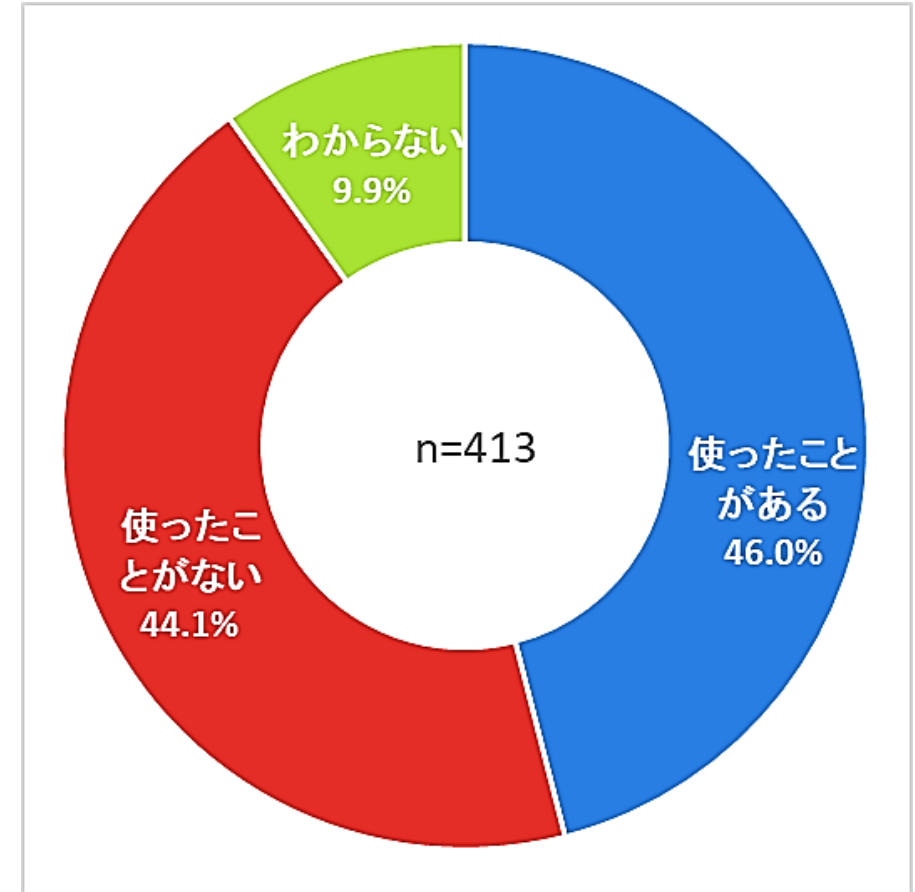
やさしい日本語を知っているか？

→「知らない」が8割弱(79.5%)



やさしい日本語を使ったことがあるか？

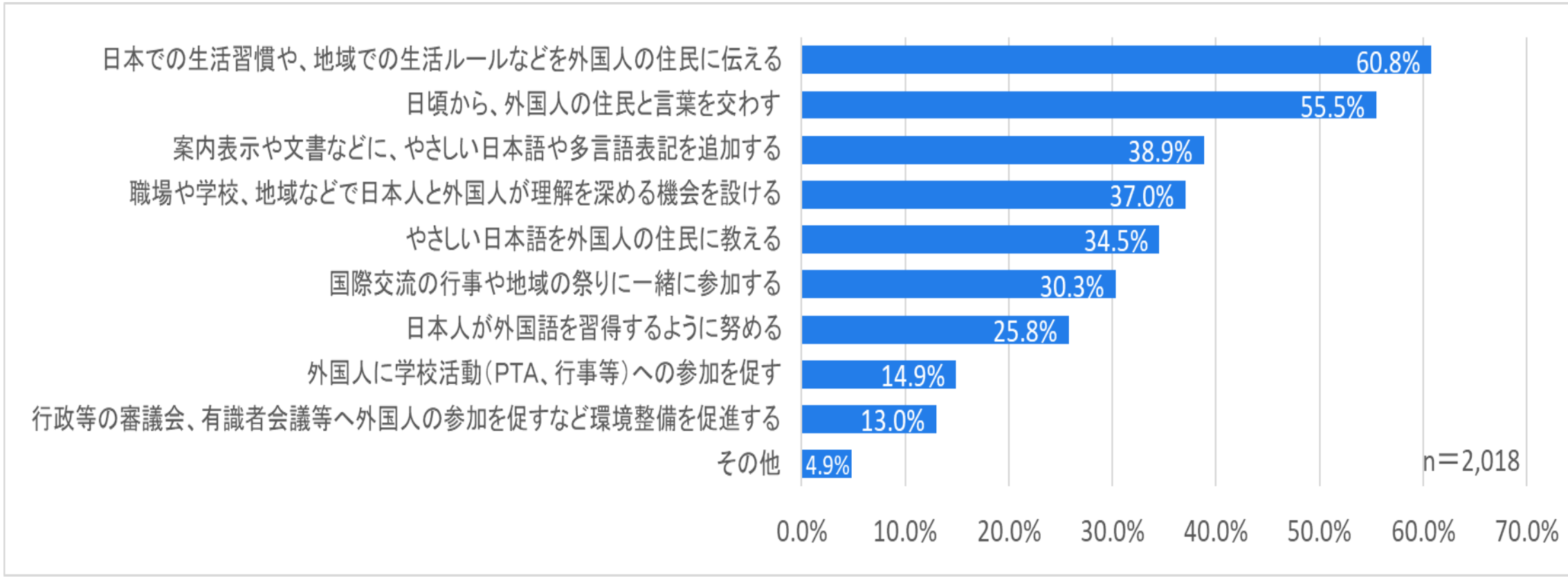
→「使ったことがある」が4割半ば超(46.0%)



### (3) 県政サポーターアンケート「外国人との共生について」 結果(抜粋)

## ○日本人と外国人が地域でより良い関係を築くために必要なこと

→「日本での生活習慣や、地域での生活ルールなどを外国人の住民に伝える」  
が6割強(60.8%)



### (3) 県政サポーターアンケート「外国人との共生について」 結果(抜粋)

#### ○自由記述

- やさしい日本語を今回初めて知った。役に立つと思う。
- 気軽にコミュニケーションが取れる機会があるといい。顔見知りになるきっかけが必要。
- 外国人と聞くと、気後れしてしまう。一人でも参加できる外国人との交流の場をもっと探してみたい。
- 共生するには分かりあう事が不可欠だと思うので、行政が積極的に交流する場を作って欲しい。
- ボランティアの活動や募集を積極的にやってほしい。
- 外国人が生活する上での困りごとを相談する機会、場所を多く提供する。就労支援や生活支援を充実させる。